

平成25年度予算要望を提出、 皆さまの声を自民党が実現します!

私たち自由民主党議員団は常に区民の目線に立って、区政に責任ある立場で議会運営を行ってまいりました。そして今回も平成25年度予算編成に際して9事業43項目にわたる予算要望を区執行部に行い、その実現に向けて自由民主党議員団は新たな取り組みを行うべく決意をいたしました。

災害対策はもちろんのこと、特に高齢社会における福祉の充実やこども次世代育成への取り組み、安全で暮らしやすい街づくりに欠かせない活力ある地域コミュニティの形成など、

本区を取り巻く様々な課題解決に向けて積極的に取り組んでまいります。

また、区政の運営にあたっては十分に区民の皆さまの声を反映し、特に区長による独断的な運営がなされないように求めると共に、区職員が自由闊達に議論ができる環境を作り、停滞した区政運営を一新するよう求めるものです。

これからも私たち自由民主党議員団は『区民の安心と安全を支える区政の実現に向けて』全力で取り組んで参ります。

自民党はこう考える!

**漏洩疑いの区長
百条委証人喚問**
千代田区議会
東京都千代田区議会は25日、区の補助金着服をめぐる情報を漏洩し、不正をうやむやにしようとした疑いがあるとして、石川雅己区長(71)を百条委員会にて証人

喚問した。石川区長は漏洩を否定した。区議会によると、今年1月、町会の餅つき大会への補助金の着服があったとの情報が区に寄せられた。調査の結果、3年分の補助金など約55万円が区に返還されたが、区議会は調査前に情報が町会側に漏れて情報提供者に圧力が加かったと

2012年12月26日
朝日新聞

▼Topics
東神田町会へのコミュニティ活動事業助成にかかると執行機関の守秘義務に関する事項

「東神田町会へのコミュニティ活動事業助成にかかると執行機関の守秘義務に関する事項」についてはたびたびお知らせしておりますが中間報告では次のようにまとめられています。

情報漏えいに関しては、参考人や証人により記憶があいまいな場合も含めて事実認識に違いがあること、参考人質問や証人尋問の結果と記録に矛盾があることがわかってきています。しかしながら、これまでの参考人質問証人尋問の結果や、東神田町会・東神田豊島町会からの提出記録、証人からの提出資料を総合すると、複数の

情報の一致した伝聞証言・記録があることや証言・記録内容の具体性から、区長から現職議員を通じて町会関係者に情報漏えいがあったとの証言は一定の信憑性があるものと考えられます。

12月25日に石川雅己区長の証人喚問が行われましたが、区長の喚問を機に二気に本事件の真相究明を図り、必要に応じて告発等を行い、事件の再発防止に全力を挙げてまいりたいと思っております。

また委員会の集約として①区長から安岡議員を通じて町会関係者に情報が漏洩した疑いが濃厚である。

②前婦人部長さんが圧力を受けて訴えを取り下げたことは、区民の区政への信頼をそこね、区政の適正化を求めて区に寄せられる区民の声の減少を招く危険が大である。結果として公平公正な区政運営の推進に支障をきたすと推定される。

以上のことが明らかになっております。12月25日に実施されました石川区長の証人喚問の内容をしっかりと聞き取り守秘義務に関する関与の有無を明らかにしたいと思っております。

生活福祉委員会
副委員長 高山はじめ

千代田区政と千代田区民をつなぐ

VOICE



Vol.07
平成25年 新年号 年4回発行

Head Line

- ▶ 議長挨拶
- ▶ 幹事長御礼
- ▶ 委員会報告
- ▶ topics 自民党はこう考える!

千代田区 自由民主党議員団 活動レポート

発行:千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F) Tel.03-5211-4320 Fax.03-5275-6882

希望の持てる一年に

新しい日本を取り戻そう!

皆さま、明けましておめでとうございます。
希望に満ちた平成二十五年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。
昨年は、年末にダブル選挙があり慌ただしい年末でしたが、公募新人であります「山田みき」が「与謝野先生」の激励をいただき、全国が注目する東京二区で大臣経験者を抑える小選挙区で当選出来ました事は快挙であり、皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。
さて、昨年は八月にオリンピッククロンドン大会が開催され、日本は過去最多となる三十八個のメダルを獲得するなど、選手皆さんの活躍は、私たちに多くの感動を与えてくれました。
また、十月には区民集会で「東京の震災を考える」その時千代田は、我が町は」をテーマに中林一樹明大教授に講演を頂き、多くの皆さまにご参集頂き有難うございました。
一方、日本経済に目を転じますと、個人消費の落ち込みにより、厳しい景気情勢となっております。
そして、雇用情勢も大変厳しい状況にあり、新たな政権の下で迅速な経済対策による景気

回復が期待されているところでもあります。
このような厳しい経済状況の中、区議会は執行機関と緻密な連携を取り、何よりも区民の皆さま方が、これからも安全で安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいります。
また、本会議のインターネット中継など開かれた議会運営を二層推進するとともに、皆さまのご意見を区政に反映できるように、活発な議論を行なってまいりますので、相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
東日本大震災では、未だ三十二万人の方々も避難生活をするなど、復興も道半ばではありますが、オリンピックパラリンピックの東京招致を推進し2020年には復興した被災地の姿を世界中にお知らせしたいと考えます。
結びに、本年が明るい話題に満ちた希望の持てる一年になることを望みますとともに、皆さまにとりまして良い年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



東京駅丸の内駅舎



あなたの声をお聞かせください! ▶ 千代田区自由民主党議員団

●お電話で 03-5211-4320 ●FAXで 03-5275-6882

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F)



戸張孝次郎

平成25年度の 予算編成に向けて

問 区政が直面する課題が整理されていない状態が続いており、千代田区政史上初となる2年連続の決算不認定という結論を出さざるを得なかった。区政の停滞を打開し、区民の安心と安全を支える責任を果たすため、どのような認識で予算編成作業を行っているのか、基本的な考えを伺う。

答 危機管理・保健福祉・次世代育成を重点分野と捉え、国の動向や社会状況等を踏まえ、具体的に進めていく。計画実現後は地域活性化のために整備される広場などを使用しながら、いかに入居者と地域・行政が連携できるか検討する。

区の観光事業について

問 ①これまでの取り組み、成果をどのように評価するのか。今後の進め方に再検証が必要ではないか②大手町地域と神田地域の機能連携を図り、回遊性を高めるためにも、日本橋川沿線の総合的な環境整備の誘導が、観光の視点からも大変重要になると考えるがいかがか。

答 ①千代田区観光協会とともに、区内の観光資源を活用し、観光施策推進に努めてきた。今後は、課題を克服し観光施策の推進を通じて、魅力あるまちづくりを進めていく②神田橋や鎌倉橋周辺の環境整備を常盤橋・大手町の開発に関連付け、観光や神田地域の活性化につなげていく。自らが取り組むことを示し、被害を最小限に抑えることに務める。東京都や周辺区との間に情報連絡体制を構築し、帰宅困難者対策等での情報の共有など自治体間の連携について模索していく。

危機管理体制の 見直しについて

問 ①閉庁時に災害が起きた場合の職員の参集人数・時間等について定期的な確認は行われているのか②休日や夜間の災害時に参集できる職員は限界がある。区内や近隣区に居住する職員の災害時の対応ルール等、迅速な体制づくりの考えと避難所の運営についての対応は。

答 ①防災・危機管理課で把握、今後定期的確認していく。②所属ごとの災害時の担当から職員個人に対し役割を割り当てるよう改める。近隣居住職員が初期対応の中心としての役割を担う。避難所の運営や支援等については、まずは地域の皆さま中心の対応となるが、区として可能な限り、迅速・的確な対応ができるよう努める。その他、「障害者施策」について、質問がありました。



内田直之

「2020年の東京」計画と 街づくりについて

問 ①首都高速中央環状線の完成後、本区内の首都高速の撤去を提案する。合わせて、国土交通省等への情報請求や考え方の発信、近隣区との協働も重要と考えるが見解を伺う。②水辺の魅力向上は都市環境の改善だけでなく、生物多様性や経済の活性化や防災にも貢献できる。具体的な事例を含め見解を伺う。

答 ①将来的な都心部の姿や交通需要は予測が難しい。実証的・科学的に確認ができた段階で行動をとりたい。②神田川・日本橋川での水辺の関心を喚起する取り組みや、大手町再開発で

の水辺を意識したまちづくりが進んでいる。今後も河川利用団体等への支援検討や情報交換を積極的に行っていきたい。

子どもの教育・保育 プログラムについて

問 ①我が国の就学前教育の重要性を、教育的、社会的、経済的効果を踏まえ、どのように認識し、基本理念に反映しているのか。②千代田区の解決すべき問題を明確とし、独自性の高いプログラムが求められている。策定の趣旨・目的と、保護者向けの普及啓発活動の必要性について見解を伺う。③小1問題といわれる、児童の学校不適應の千代田区の状況について伺う。

答 ①人間としての生き方を左右するものと認識し、教育の基礎を培い、経験・体験の共通化を基本理念に、育ちの保障につなげる。②本区の現状を踏まえ、設置主体の別や認可形態にとらわれず、教育・保育の内容を明らかにし、健全育成に資する。直接的に家庭教育力向上を意図してはいないが、有用な事例の掲載もあり「概要版」を作成し、普及啓発に努める。③本区では現在、特に問題となっていない

年頭のご挨拶



自由民主党議員団 幹事長 嶋崎秀彦

昨年は師走のお忙しい時期に衆議院議員選挙と都知事選挙があり、皆さまには大変お世話になりました。お陰様で選挙区で自民党の議席を獲得することができました。これも偏に皆さま方のご支援の賜物であり重ねて御礼申し上げます。

そして本年は千代田区長選挙が執行されます。今、千代田区政は混乱の中にあり、この区長選挙は千代田区にとって大変大切な選挙になります。議会は現在、現職区長の情報漏えい疑惑について調査を行っております。

昨年12月25日には100条調査権に基づく区長の証人尋問が行われ、新聞各紙にも報道されたところであります。来年度予算編成が間近に迫る中、このままでは区民生活にも甚大な影響が出てまいります。

区議会における最大会派である自民党議員団は、この区長選で一致結束して前副区長「大山たかじ」さんを支援してまいります。必ず勝利に向け戦いのコマを進めてまいりますので、ご理解賜りますよう心よりお願い申し上げます。

そして引き続き我々自民党議員団に対しご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。



永田壮一

行政評価について

問 「議会と行政(区長)の関係が悪化している状況では行政評価が適正に実施されているのか疑問がある。具体的な指標が無くコスト意識も感じられない現状維持の行政体質の自己弁護に利用されていないだろうか。区民サービスの向上につなげる為に行政評価が有効に活用されることを求める。

答 区民への説明責任を果たすため、より客観的な評価に努める。より中立性を高め成果や課題の把握が可能な指標等の設定していく。

情報漏洩について

問 近隣自治体で住民情報が売買された事件が発生したことを受けて、本区での情報管理体制を問う。特に人的ミスの防止、対策ソフトの導入、ネットを経由した外部からの攻撃、バックアップ体制の強化を求める。

答 早急にコンプライアンスガイドラインを点検し情報セキュリティ対策の具体的な対応を含め強化する。システムの堅牢化により安全性の確保に努め、区民情報のバックアップは二重化で対応している。

